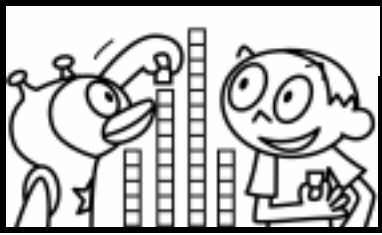


算数 学習相談		学研教育情報資料センター  小 / 算数 / 5年 / 数量関係 / 割合と百分率 / 理解シート
------------	---	--

てい か 定価 ・ 利益の割合から仕入れ値をを求める問題の解き方を教えて



仕入れ値が定価のどれだけの割合になっているかがわかれば、仕入れ値は、もとにする量を求める式で求められるんだよ。比べられる量を、比べる量ともいうんだよ。

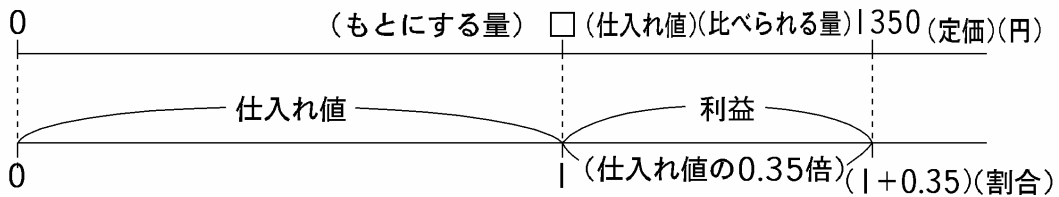


仕入れ値を求める問題を解きましょう。

ある品物に仕入れ値の35%の利益を含めて1350円の定価をつけました。この品物の仕入れ値は何円だったですか。

**ポイント** ◆定価は、(定価)=(仕入れ値)×(定価の割合)の式で求められます。  
百分率は、小数にして計算します。35%=0.35

① 定価・仕入れ値(1とする)、・利益の割合(仕入れ値の35%)の関係を図に表します。仕入れ値の35%は、仕入れ値の0.35倍を表します。



② 上の図から、仕入れ値の割合を1とすると、定価の割合は、仕入れ値と利益の割合の和になるから、仕入れ値の(1+0.35)の割合になります。

③ 定価は、仕入れ値の(1+0.35)倍になります。仕入れ値を□円とすると、1350円(定価)は、□円の(1+0.35)倍にあたるといえます。

④ 仕入れ値はもとにする量を求めるわり算の式で求められます。

$$\begin{array}{rcl}
 (\text{比べられる量}) & \div & (\text{割合}) = (\text{もとにする量}) \\
 1350 & \div & (1+0.35) = 1000 \\
 (\text{定価}) & & (\text{定価の割合}) \quad (\text{仕入れ値}) \qquad \text{答え}\cdots 1000\text{円}
 \end{array}$$